

2020年10月2日

各 位

株式会社 紀陽銀行

## 阪神高速道路株式会社が発行する「ソーシャルボンド」への投資について

株式会社紀陽銀行（頭取：松岡 靖之）は、阪神高速道路株式会社（代表取締役社長：吉田 光市）が発行するソーシャルボンド（阪神高速道路株式会社第23回社債（一般担保付、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構併存的債務引受条項付）、以下「本債券」）への投資を決定しましたのでお知らせいたします。

「ソーシャルボンド」とは、社会的課題の解決に資するプロジェクト（ソーシャルプロジェクト）の資金調達のために発行される債券のことであり、グリーンボンドとともに、ESG投資（※）の対象となります。本債券は、ICMA（International Capital Market Association／国際資本市場協会）が定義するソーシャルボンド原則に適合する旨、格付投資情報センター（R&I）からセカンドオピニオンを取得しています。

本債券の発行による調達資金は、阪神高速道路株式会社が担う高速道路事業に充当され、「交通安全確保」「災害発生時の機能維持」「渋滞対策」「インフラの老朽化対策」などのSDGs達成に向けた取り組みに活用されます。

紀陽銀行は、2019年3月に表明した「紀陽銀行SDGs宣言」に基づき、今後も地域金融機関としての事業活動を通じてSDGsの達成に貢献し、地域社会とともに持続的に成長していくことをめざします。

### 【本債券の概要】

銘 柄	阪神高速道路株式会社第23回社債 （一般担保付、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構併存的債務引受条項付）
年 限	4年
発行額	350億円
発行日	2020年10月14日（水）

※ESGとは、環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）の英語の頭文字を合わせた言葉。「ESG投資」とは、これらの要素を重視・選別しておこなう投資のこと

以上

本取り組みは、SDGs（持続可能な開発目標）のゴール17「パートナーシップで目標を達成しよう」につながる取り組みです。

